

いわない 社協だより

岩内町社会福祉協議会

**第
77
号**社会福祉法人
岩内町社会福祉協議会〒045-0022
岩内郡岩内町字清住167
岩内町老人福祉センター内
TEL 0135-62-3328
FAX 0135-62-3859

平成30年12月1日



平成9年3月に開設されたデイサービスセンターは今年で22年目を迎え、多くの利用者の皆さんに利用いただいております。

入浴や食事など基本的なサービスの他、レクやゲームなど『楽しみながら機能を維持・改善いただけるような活動』をしていただいております。昨年度は延べ3,600名の方々にご利用いただきました。

最近では、書初めやうちわづくり、町内お寺巡りなど、新たな活動に加え、「ゆずりはの会」との交流会にて地域のみなさんとの交流をしたり、と趣向を凝らした活動を行い利用者の皆さんに喜ばれております。

今後も利用者の皆さんに楽しんでいただきつつ、個々に応じた介護を行うことでますます元気になっていただき、地域に根ざしたサービスを提供していける施設を目指していきます。

平成29年度事業報告

○理事会 4回開催（5月、6月、12月、3月）

○評議員会 2回開催（6月、3月）

○小地域福祉活動事業

- ・7町内会（合計793世帯）において、高齢者見守り福祉カードの作成（147世帯）及び定期的な声掛け・見守り活動（79世帯）を行いました。各町内会単位で定めた見守りが必要と思われる世帯に対し見守りカードの作成、そのうち定期的な声掛けや見守りを希望された方に対し、安否確認を兼ねた声掛け訪問などを町内会単位で実施していただきました。（年間延べ1,541回実施）

○介護保険サービス

- ・訪問介護事業 月平均189名利用（年間延べ16,507回のヘルパー訪問）
- ・居宅介護支援事業 月平均 66名利用（介護サービス計画《ケアプラン》の作成）
- ・福祉用具貸与事業 月平均 34名利用（電動ベッド、車椅子、歩行器、手すり、スロープ等の貸与）

○障害福祉サービス

- ・居宅介護事業 月平均13名利用（年間延べ788回のヘルパー訪問）
- ・重度訪問介護事業 月平均 1 名利用（年間延べ88回のヘルパー訪問）

○受託事業

- ・生活支援指導訪問事業 月平均 3 名利用（年間延べ163回訪問）
- ・訪問給食サービス事業 月平均43名利用（年間延べ8,195食配送）
- ・車いす移送サービス事業 登録利用者数40名（年間延べ643回運行）
- ・手話奉仕員養成講座（岩宇4ヶ町村） 受講生21名（手話奉仕員養成講座〔入門課程〕実施）
- ・日常生活自立支援事業 利用者 6 名（年間延べ56回の訪問及び210回の電話相談）
- ・電話サービス事業 緊急通報システム利用者に対し毎月 1 回電話による安否確認
（月平均63名の利用者に対し年間延べ754回の安否確認を行いました。）

○赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

○赤い羽根共同募金助成金による事業

- ・高齢者ふれあい昼食会 2回開催（6月宮園地区63名参加、10月御崎・大和・野束・敷島内地区56名参加）
- ・男の料理教室（7月開催 16名参加）
- ・高齢者ふれあいパークゴルフ大会（7月開催 36名参加 男性20名 女性16名）
- ・要保護世帯児童修学旅行援助事業（対象者58名）
- ・ボランティア団体活動助成事業
- ・老人クラブ団体活動助成事業
- ・社協だより発行（12月）



（実）赤い羽根共同募金運動の街頭募金活動の様子。



（等）事業報告や決算関係の審議や評議員会。

○歳末たすけあい運動（12月1日～12月25日）

○歳末たすけあい募金助成金による事業

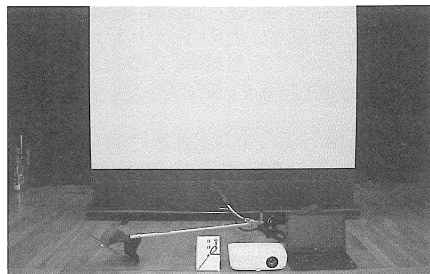
- ・要保護世帯へ歳末見舞金支給（58世帯に支給）
- ・児童施設入所者へ歳末義援金支給（45名に支給）
- ・各福祉施設、団体へ歳末義援金支給（5施設・団体に助成）
- ・歳末福祉パトロール（口取り配布）事業（580件に配布）

○貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業（実施主体：北海道社会福祉協議会）…貸付決定件数 2 件
- ・愛情金庫貸付事業（実施主体：岩内町社会福祉協議会）…貸付件数30件

○指定管理者事業

- ・岩内町デイサービスセンター管理運営事業 1 日平均12名利用（年間延べ利用者数3,599名）
- ・岩内町老人福祉センター管理運営事業 センター利用者年間延べ人数45,144名（入浴利用者数31,777名）



す活は寄ク昨
。用様贈ル年
し々頂ト南
てない株北
お事た様海
り業物よ道
まで品リヤ



す貸車昨
。出い年
しす寄
ては贈
おり無さ
り償れた
までた
（株ツルハ様及び
クラシル様より寄贈）

○ボランティア活動関連

- ・社協ボランティア「いきがい」活動 年間延べ25件の生活支援活動
（窓のビニール張り・取外、小破修繕、草刈り、除雪）
- ・ボランティアグループ「火曜会」活動（声かけ訪問、電話サービス）
月平均 5 名利用（年間延べ147回の訪問及び電話での声掛け）
- ・ボランティア保険取扱事務…14件、計214名に対しての取扱事務対応
- ・有償ボランティア活動…利用会員 206名に対し協力会員38名により、合計429回の種々の支援を実施。

○その他

- ・福祉用具展示室の開設（岩内町地域交流センター 1 階にて介護保険でリース及び購入可能な商品の展示）
- ・手話通訳派遣事業（岩宇 4 ヶ町村、寿都町共同事業） 年間延べ40回派遣
- ・古切手、アルミ缶、リングブルの収集
- ・福祉ベッド 5 件、車いす31件、ポータブルトイレ 9 件、歩行器 6 件、入浴補助用具 9 件の無償貸与
- ・社会福祉関係団体委任事業（岩内町殉国遺族会事務局）

平成29年度 岩内町社会福祉協議会収支決算

貸借対照表（平成30年 3 月31日現在） 単位：千円

資 産 の 部			負 債 の 部		
・流動資産		24,614	・流動負債		11,180
	現金預金	11,539		事業未払金	9,763
	事業未収金	13,065		職員預り金	1,335
	立 替 金	10		前 受 金	82
・固定資産		48,100	・固定負債		23,672
	定期預金	1,000		退職給付引当金	23,672
	建 物	130		負債の部合計	34,852
	車輛運搬具	1,831	純 資 産 の 部		
	器具及び備品	54		国庫補助金等特別積立金	593
	愛情資金貸付金	597		・その他の積立金	23,006
	退職給付引当資産	23,672		基本財産積立金	1,000
	財政調整積立資産	2,975		財政調整積立金	2,975
	基盤強化基金積立資産	15,317		基盤強化基金積立金	15,317
	車輛更新資金基金積立資産	2,524		車輛更新資金基金積立金	2,524
				愛情金庫積立金	1,190
				・次期繰越活動増減差額	14,263
				純資産の部合計	37,862
資産の部合計		72,714	負債及び純資産の部合計		72,714

平成29年度資金収支計算書 単位：千円

収入科目	予算額	決算額	差 異	支出科目	予算額	決算額	差 異
会費収入	2,000	1,792	△208	人件費支出	111,115	110,593	△522
寄附金収入	1,400	1,397	△3	事業費支出	23,096	22,716	△380
経常経費補助金収入	7,792	7,668	△124	事務費支出	12,846	12,074	△772
受託金収入	56,741	56,492	△249	貸付事業支出	1,490	768	△722
貸付事業収入	999	850	△149	共同募金配分金事業費	1,904	1,789	△115
事業収入	285	290	5	助成金支出	644	644	0
負担金収入	300	300	0	負担金支出	400	375	△25
介護保険事業収入	65,790	68,996	3,206				
障害福祉サービス等事業収入	6,000	5,740	△260				
受取利息配当金収入	4	0	△4				
その他の収入	1,110	1,143	33				
積立資産取崩収入	5,993	6,000	7	積立資産支出	3,006	2,656	△350
拠点区分間繰入金収入	1,640	1,463	△177	拠点区分間繰入金支出	1,640	1,463	△177
サービス区分間繰入金収入	11,003	10,075	△928	サービス区分間繰入金支出	11,003	10,075	△928
① 当期資金収入計	161,057	162,206	1,149	② 当期資金支出計	167,144	163,153	△3,991
				③ 予 備 費	7,793		△7,793
当期資金収支差額合計 ④=①-②-③					△13,880	△947	12,933
前期末支払資金残高 ⑤					13,880	14,381	501
当期末支払資金残高 ⑥=④+⑤					0	13,434	13,434

平成30年度岩内町社会福祉協議会事業方針

- (1) 近年、少子高齢化や住民生活の多様化などにより、住民が抱える生活課題やニーズも複雑多様化しております。
国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、多様化するニーズ変化を背景に「できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らすことができる」よう地域包括ケアシステムの推進に向け様々な改革が行われております。
なかでも、介護保険制度では、介護予防の一部が地域支援事業へ移行され、住民主体の助け合いや生活支援サービスの拡充を図り、地域の実情に応じた支援体制を構築していくことが求められております。
更には、岩内町においても平成30年度より地域支援事業の1つに位置付けられている生活支援体制整備事業がスタートいたします。
社協では、ボランティア等の生活支援の担い手の養成や発掘をはじめとした地域資源の開発や、そのネットワーク化などの調整役となる「生活支援コーディネーター」の配置について町より受託し、この事業の目的である地域での日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことができるよう、これまで培ってきたネットワークを活かし、協議体や地域関係者との連携のもと推進して参ります。
- (2) 有償ボランティア活動については、日常生活上の困りごとに対し幅広い支援活動を実施し多くの利用者に喜ばれておりますが、年々増加する利用会員の一方、協力会員数は横ばいとなっており、支援活動のマッチングに苦慮しております。
協力会員については、自ら活動に参加することで健康増進を図り、やりがいや生きがいなどを見出し長く元気に地域生活が送れることを目的としておりますので、更なる周知活動や関係機関との連携を図り、無理なく幅広い支援活動に対応できる体制づくりに努めて参ります。
- (3) 一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯の増加等に伴い、全国的にも孤立死や消費者被害、詐欺、虐待、老老介護を背景とする痛ましい事件等も後を絶たず問題となっております。
これらを未然に防止あるいは早期に発見し問題解決につなげるためには、普段からの関わりによる気づきが重要であります。
そのため、これまで同様、町内会等の小地域を基盤として見守り活動や援助活動などが提供できる体制(ふれあいネットワーク活動)づくりを引き続き推進し、高齢者や障がいを持つ方などが安心して暮らしていける地域づくりを目指して参ります。
- (4) 介護保険事業については、平成30年度の法改正に伴う報酬改定がありますが、本会が実施する事業についてはほぼ同水準での改定であります。
利用者数も増加傾向にあり平成29年度は増収増益の見込みであります。利用者の異動に大きく左右される事業でありますので、適正な人員配置や労務管理に努め、継続して経営の安定化を図って参ります。
- (5) 在宅サービスを提供する者として利用者個々の相違を的確に見極め、適切な支援ができるよう努めるとともに、町をはじめ福祉関係機関等との連携を密にし、問題の早期発見、ニーズの明確化に努め、効果的な事業運営を推進して参ります。
- (6) 高齢や障がいにより日常生活の判断に不安がある方を対象に行っている日常生活自立支援事業(福祉サービスの利用手続きや生活費の管理支援など)については、利用件数は横ばいではありますが、潜在する要援護者も多くいるものと推測され、今後においても利用者の増加が見込まれますので、支援員の確保を図るなど適正に実施できるよう努めて参ります。
- (7) 会計業務については、内部監査や外部監査の実施により適正に処理されるよう努めておりますが、今後も継続的に適正に実施されるよう努めて参ります。
- (8) 社協の広報活動については、社協だよりの発行とともに、ホームページ等により事業活動のお知らせなど随時、効果的に発信し周知活動に努めて参ります。
- (9) 今日の厳しい社会、経済状況を反映して、社協会費や寄附金なども減少傾向にありますが、出来る限り自己財源の確保に努めるとともに、職員の資質向上に向けて積極的に研修会等へ参加し、社協基盤の充実強化を図り、各種事業が円滑に運営出来るよう努力して参ります。

平成30年度岩内町社会福祉協議会収支予算

単位:千円

資金収入の部				資金支出の部			
科目	本年度予算	前年度予算	増減	科目	本年度予算	前年度予算	増減
会費収入	2,000	2,000	0	人件費支出	116,910	110,355	6,555
寄附金収入	500	500	0	事業費支出	23,971	22,966	1,005
経常経費補助金収入	7,625	7,792	△167	事務費支出	12,967	12,926	41
受託金収入	60,617	56,741	3,876	貸付事業支出	1,680	1,490	190
貸付事業収入	999	999	0	共同募金配分金事業費	1,736	1,904	△168
事業収入	256	285	△29	助成金支出	644	644	0
負担金収入	300	300	0	負担金支出	400	400	0
介護保険事業収入	69,480	63,280	6,200	積立資産支出	3,426	3,006	420
障害福祉サービス等事業収入	5,400	6,300	△900	拠点区分間繰入金支出	1,740	1,640	100
受取利息配当金収入	4	4	0	サービス区分間繰入金支出	8,197	9,123	△926
その他の収入	1,000	1,010	△10				
積立資産取崩収入	9,000	8,393	607				
拠点区分間繰入金収入	1,740	1,640	100				
サービス区分間繰入金収入	8,197	9,123	△926				
当期収入額計	167,118	158,367	8,751	当期支出額計	171,671	164,454	7,217
前期末支払資金残高	14,110	13,880	230	予備費	9,557	7,793	1,764
収入合計	181,228	172,247	8,981	支出合計	181,228	172,247	8,981

生活支援体制整備事業について

岩内町では、平成30年4月から生活支援体制整備事業がスタートし、岩内町より委託を受け岩内町社会福祉協議会の現職2名を「生活支援コーディネーター」（通称：コーディネーター）として配置いたしました。

本事業は、支援を必要としている高齢者に対して、地域組織やボランティア、住民同士の助け合いにより、いつまでも住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けて行けるよう不足するサービスの創出や担い手の確保等を目指すものです。コーディネーターは地域の困りごとを把握し、高齢者の方々の積極的な社会参加を後押しできるよう努めて参ります。

これまでの活動として、町内の介護予防サロンの休止に伴い、当サロンで学ばれた介護予防体操を住民主体で自主的に行いたいというお声が挙がり、その立ち上げをお手伝いさせていただきました。

また、高齢者が定期的に外出し社会参加できるふれあいの場や、既存の団体を調査し、社会資源マップを現在作成中であります。今年度より始まった事業であり、手探りの状態ではありますが調査の為訪問した際にはぜひご協力お願い致します。

生活支援コーディネーター協力のもと立ち上がった 住民主体の体操クラブの様子



毎週金曜日、九時から（体操は十時から開始）岩内地方文化センター和室にて行われているストレッチ体操クラブ
※敷物（バスタオル、マットなど自由に）をご持参下さい。

毎週火曜日、十時から老人福祉センター集会室にて行われている介護予防体操クラブ

※上靴と敷物（バスタオル、マットなど自由に）をご持参下さい。



生活支援コーディネーターに関する問い合わせは

岩内町社会福祉協議会

☎62-3328

（担当：奥・奈良）

地域の助け合い（有償ボランティア「たすけ手」）

手助けを

してほしい方
したいと思ってる方

募集中！

雪の季節を迎えました。

特にこの時期になると、高齢者を中心に除雪のことで困っている方が増えてきています。
社会福祉やボランティアに関心のある方は、是非一緒に参加してみませんか。



「声掛けサービス」を利用しては いかがでしょうか

ボランティアグループ「火曜会」の皆さんにより月に1～2回程度、高齢者宅を訪問したり、電話での声掛けサービスをしていただいています。

利用料などはありませんので、希望される方は是非ご利用ください。

有償ボランティア「たすけ手」・声掛けサービスについての問い合わせは

岩内町社会福祉協議会ボランティアセンター

☎62-3328

車いす移送サービス

岩内町より受託し岩内社協が実施しております。

車いすを利用して生活されている方を対象に、町内の病院や歯科医院、一部共和町の歯科医院への通院又は入退院、町及び福祉団体が開催する行事に参加される際の移動手段として、車いすに乗ったままで乗降できる福祉車両（通称「ひまわり号」）での送迎を行っております。

安心して外出できると多くの利用者に喜ばれており、車いすの貸出しも行っておりますので、利用希望の方は事前に社協までご連絡ください。

- ・利用料金 無料
- ・運行時間 月曜日～金曜日

（祝日除く）

午前8時45分から

午後5時15分まで

お問い合わせ先

岩内町社会福祉協議会

電話 62-3328



（車いす移送サービスで活躍する専用車両「ひまわり号」）

ふれあいパークゴルフ大会

毎年の恒

例行事とな

りました岩

内町社協会

長杯「高齢

者ふれあい

パークゴル

フ大会」を

七月二十六

日、いわな

いパークゴ

ルフ場にお

いて開催しま

した。

第二十二回

となりました

今大会は

三十五名の方

が参加され、

天候にも

恵まれ、参加

者の方々は日

頃の練習

の成果を如何

なく発揮し素

晴らしいプ

レイをされて

おりました。

今年

は十三名の

男性の参加



男の料理教室

七月二十五日、文化センターにおいて男の料理教室を開催いたしました。

今年は十三名の男性の参加者があり、岩内町食生活改善協議会の手ほどきを受け、とりチリブロッコリー添え、胡瓜の梅肉和え、わかめ入りかき玉汁などを慣れない手つきながらもみなさん楽しく調理されておりました。

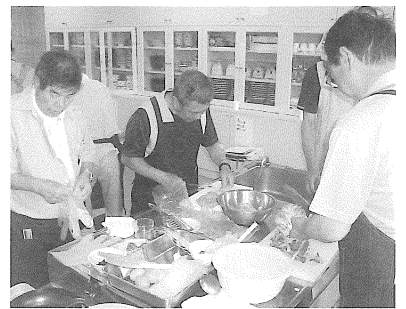
苦勞して作った料理の味は別格のようで皆様美味しく召し上がっていました。

高齢者ふれあい昼食会

各地区の民生委員さんのご協力のもと、対象地域にお住いの七十五歳以上の方を無料招待し、岩内町食生活改善協議

会のメンバーの手作りのお弁当を食べながらレクレーションを楽しみ

ます。今年六月に大浜地区を対象に行われ三十六名の方が参加。十月には栄地区を対象にし



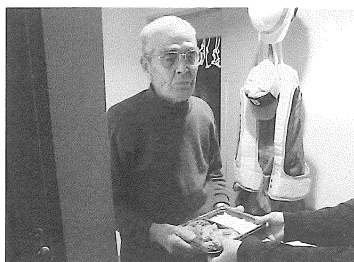
て行われ二十八名の方に参加いただきました。

食前には、岩内警察署の職員より特殊詐欺の防止についてのお話や、岩内町地域包括支援センター職員による簡単な健康体操等が行われ参加者全員熱心に取り組んでおりました。

訪問給食サービス

食事を贈う

ことが困難な高齢者や障がいのある方に対して、夕食を配送するサービスを岩内町から受託して実施しております。



岩内町デイサービスセンターの厨房にて栄養のバランスのとれた献立を工夫し、美味しく召し上がってもらえるようスタッフが心を込め調理しております。

また、配食時には利用者様の安否確認を行い、ふれあいを深めるよう努めて参ります。

・実施日 月曜日から土曜日

・利用日 週3日か6日のどちらか

・料金 1食500円

ご利用の申請は、

役場介護保険担当

（電話67-7085）まで。

歳末見舞金交付のお知らせ

岩内町社会福祉協議会では、次の低所得世帯に対し少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、歳末たすけあい募金を財源として「歳末見舞金」を交付いたします。

(交付予定額 1世帯あたり5,000円)

※歳末たすけあい募金実績により交付金額が変動する場合があります。

【対象世帯】 ①75歳以上の単身世帯

②その他75歳以上の方のみで構成される世帯

★平成30年度の町民税が非課税世帯であること。

★平成29年中の収入が、単身世帯で90万円以下、複数世帯で133万円以下であること。

※年齢は数え年（昭和19年12月31日以前に生まれた方）

※生活保護受給世帯及び入院中、施設入所中の方は対象外となります。

※住民票上世帯分離していても、同じ家に住んでいる場合は同居とみなします。

【申込み方法】

- 申請窓口 岩内町社会福祉協議会または地区の民生委員。
社協まで申請に来られない方は、地区の民生委員までご連絡下さい。
- 必要なもの 印鑑、遺族年金または障害年金を受給されている方は、受給額がわかるもの
- しめきり 平成30年12月12日(水)まで
- お問い合わせ 社会福祉法人岩内町社会福祉協議会
岩内町字清住167番地(岩内町老人福祉センター内)
電話 62-3328 FAX 62-3859

平成29年度 共同募金実績

昨年度の共同募金は

戸別募金	864千円
街頭募金	29千円
職域募金	57千円
その他	559千円
計	1,509千円

併せて1,509千円と多くの方々よりご協力をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

なお岩内町社協へは636千円が助成され、貴重な財源として児童福祉、老人福祉、ボランティア活動に使われております。

平成29年度 歳末たすけあい実績

収入	138件	988,596円
前年度繰越金		114,787円

助成内訳

低所得高齢者世帯	58件	290,000円
児童施設入所者	45件	90,000円
施設・団体配分	5件	170,000円
歳末福祉パトロール	580件	435,000円
計		985,000円

各社会福祉大会に おける功労者表彰

八月二十八日に開催された第六十八回北海道社会福祉大会において、東山地区の民生委員である久米留李子氏が、二十四年の永きにわたる地域住民の生活の安定と行政の推進に寄与された功績が認められ、「民生委員・児童委員功労者」として北海道社会福祉協議会々長表彰を受賞されました。

また、十月十九日に俱知安町で開催された第七十二回小樽・後志地区社会福祉大会において小樽・後志地区社会福祉協議会連絡協議会々長表彰の式典が執り行われ、当会の監事である野崎幸博氏が、十年の永きにわたる功績が認められ、「社会福祉協議会役員功労者」として被表彰者を代表して登壇し表彰されたほか、「民生委員・児童委員功労者」として東山地区の高橋敏幸氏、大浜地区の竹越美智子氏、大泉京子氏、万代地区の田澤慶明氏、大和地区の大橋由政氏、宮園地区の加藤朋子氏、野東地区の野本瞳氏、敷島内地区の樋口禮子氏がそれぞれ十年の永きにわたり社会福祉の増進に寄与された功績が認められ受賞されました。

なお、本大会においては、岩内町民生委員協議会から十七名が参加。式典後には、「司法過疎地域の過去・現在・未来」と題して、ようてい法

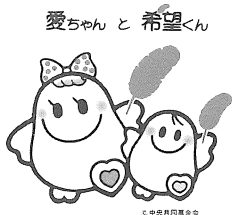
律事務所弁護士である渡邊恵介氏の講演が行われ、参加者は過疎地域における現在の弁護士の現状や法人後見等について熱心に学ばれておりました。

さらには、十一月二十二日に東京都で行われた平成三十年度全国社会福祉大会では栄地区の民生委員である佐藤紀子氏が、二十六年の永きにわたり社会福祉の進展にご尽力された功績が認められ「民生委員・児童委員功労者」として全国社会福祉協議会々長表彰を受賞されました。

受賞された皆様本当におめでとうございます。



（小樽・後志地区社会福祉大会式典にて表彰された野崎監事）



『いわない社協だより』は赤い羽根共同募金の助成を受け発行しております。